



園芸課  
国安 平

# 除草剤を適正に使用して 雑草の蔓延を防ごう!!



除草剤名	作物名 (一部)	使用量		使用時期	使用方法	
		薬量 (ml/10a当り)	散布量 (%/10a当り)		散布箇所	回数
 <b>バスタ液剤</b>	トマト	300~ 500ml	100~ 150L	収穫前日まで(雑草生育期: 耕起前・定植前又は畦間処理)	雑草茎葉 散布	3回以内
	なす					
	ピーマン					
	ねぎ					
	にら			収穫前日まで(雑草生育期: 耕起前・は種前・定植前又は畦間処理)		3回以内
<b>ワンポイント</b>	薬剤がかかった部分を直接枯らす効果があります。効果は早効きタイプです。作物にはかからないよう注意しましょう。					

除草剤名	作物名 (一部)	使用量		使用時期	使用方法	
		薬量 (ml/10a当り)	散布量 (%/10a当り)		散布箇所	回数
 <b>ラウンドアップ マックスロード</b>	トマト	200~ 500ml	通常散布 50~100L/10a 少量散布 5~50L/10a	耕起前まで (雑草生育期)	雑草茎葉 散布	1回以内
	きゅうり		通常散布 50~100L/10a 少量散布 25~50L/10a	収穫前日まで (雑草生育期: 畦間処理)		2回以内
	なす					
	ピーマン					
	えだまめ					
<b>ワンポイント</b>	薬剤がかかった部分から吸収し、根まで枯らします。微風によるドリフトや、ガス化により作物に薬害が生じる事があるので特に注意が必要です。畦間処理の際には必ず飛散防止カバーを使用し、作物にかからないように散布しましょう。					

除草剤名	作物名 (一部)	使用量	使用時期	使用方法	
		散布量 (kg/10a当り)		散布箇所	回数
 <b>クレマトU 粒剤</b>	トマト	4~6kg	定植活着後 但し定植10日後まで	畦間株間 土壌散布	1回
	きゅうり		定植前(雑草発生前)	全面土壌 散布	
			定植後(雑草発生前) 但し定植10日後まで	畝間株間 土壌散布	
	西瓜		定植前(雑草発生前)	全面土壌 散布	
	ねぎ		定植活着後(雑草発生前) 但し定植10日後まで		
	菊		定植後(雑草発生前)		
<b>ワンポイント</b>	ガスによる揮散が少ない剤です。基本的には雑草発生前に使用します。生育中に散布する際は作物にはできるだけかからないよう注意。				

農作物を栽培するうえで、雑草対策に悩まされることは多いと思います。雑草が蔓延すると、農作物の生育が阻害されたり、害虫による食害など、品質の低下に繋がります。今回は、代表的な除草剤を3つ紹介します。適正に使用し雑草の蔓延を防ぎましょう。

※どの除草剤も、様々な作物に登録がございます。使用する作物によって、使用量・使用時期・使用方法が変わってきますので、ご確認の上、ご使用願います。また、「風の強い日には散布しない」・「飛散防止カバーを使用する」等のドリフト対策の上、ご使用願います。

◇お問い合わせ◇ 園芸課 ☎018212316578